



(写真) ベネズエラ文化省 “伝統行事「サン・ファン・パウティスタ」 ユネスコの世界無形文化遺産に認定”

2021年12月13日(月曜)

政治

「[与党 バリナス州の票を買おうとしている?](#)」

「[オランダ ロドリゲス副大統領の入国を拒否](#)」

「[グアイド議長 民主主義会議で演説](#)」

～[2024年の大統領選を想定?～](#)」

経済

「[アイサミ石油相 病気はヘルニア](#)」

「[OPEC 11月の産油量は日量82.4万バレル](#)」

「[証券公社 少額から投資可能な仕組みを検討](#)」

社会

「[アルーバ ベネズエラからの入国停止措置延長](#)」

2021年12月14日(火曜)

政治

「[ククタ空港で爆破事件 少なくとも3名死亡](#)
～[野党 マドゥロ政権がテロリストを支援](#)～」

「[来年のグアイド政権存続 野党内で検討](#)」

経済

「[与党国会 22年度予算134.6億ドル承認](#)」

「[国内自動車 経過年数15年超が約半分](#)」

社会

「[サン・ファン・パウティスタ](#)」

～[ユネスコ 世界無形文化遺産に認定](#)～」

「[モナガス州の巨大洞窟 旅行ツアー](#)」

2021年12月13日（月曜）

政治

「与党 バリナス州の票を買おうとしている？」

12月13日 バリナス州知事選に出馬している穏健ADのクラウディオ・フェルミン候補は、マドゥロ政権の大臣15名がバリナス州に来て、1月9日に予定されているバリナス州知事選のために、有権者の票をお金で買おうとしていると訴えた。

マドゥロ政権はバリナス州の知事選で与党候補のホルヘ・アレサ前外相を当選させるため、バリナス州に集中して政府プロジェクトを行っているという。

一例では、サンタエジャ教育相はバリナス州で62の教育施設の改修工事を開始し、学校給食への寄付を行っている。

ラウル・ラレデス公共事業相は、「安全で美しいバリナス州の愛国者 (Barinas Patriota, Bella y Segura)」のスローガンのもと1800名超を動員し、道路工事を行っているという。

他、ビジャロエル住宅相もバリナス州を訪問し、住宅建設プログラムのイベントを発表している。

実際にお金を支払っているかどうかは定かではないが、政府の公的資金を投じて間接的にアレサ候補への票集めをしていることは間違いないだろう。

選挙問題を扱う非政府系団体「Sumatte」も、政府による与党候補への支援を非難している。

「オランダ ロドリゲス副大統領の入国を拒否」

12月13日 デルシー・ロドリゲス副大統領は、オランダに入国を拒否されたと訴えた。

ロドリゲス副大統領がオランダへ訪問しようとしていた目的は、同国ハーグに本部がある「国際刑事裁判所 (CPI)」に訪問するため。

11月3日 CPIのカーン検事は、ベネズエラの訪問最終日に「マドゥロ政権が人道に対する罪を犯したかどうかの調査を開始する」と発表。

マドゥロ大統領もカーン検事の発表を受け入れ、調査に協力する趣旨の覚書を締結していた（「[ベネズエラ・トゥデイ No.674](#)」）。

この合意に基づきハーグでCPIに対して、マドゥロ政権側の主張を伝えることが訪問の目的だったという。

しかし、オランダ政府がロドリゲス副大統領およびその一行の入国を拒否したことで説明の機会を逸したと訴えた。

ロドリゲス副大統領は欧州の個人制裁を受けており、副大統領のEU域内への入国は禁止されている。ロドリゲス副大統領は、EUの政治的な意図で入国を拒否されたと指摘している。

一方、オランダ政府はこの訴えに反論。

オランダ政府は、ロドリゲス副大統領とその一行が移動に使おうとした飛行機に安全上の問題があったことが入国を拒否した理由と説明。具体的にどのような安全問題があったのかは明らかにしなかったが政治的な理由による入国拒否との指摘を否定した。

「グアイド議長 民主主義会議で演説

～2024年の大統領選を想定?～」

12月13日 グアイド議長は「世界民主主義行動リーダー首脳会議」にオンラインで登壇した。

同会合にはベネズエラに加えて、ベラルーシ、ミャンマー、ニカラグア、香港、キューバ、ウガンダなどの反政府派リーダーが集まったという。

グアイド議長は同会合で、独裁者と対峙する同盟を結成するよう提案。独裁者との戦いを国際社会に見えるようにする必要があると主張した。

また、10月から中断している与野党協議について、協議を再開する意思を示した。

グアイド議長は、ベネズエラ野党グループに対して「マドゥロ政権から脱却するために団結する時」と主張。

「独裁政権下で民主主義を行使するためには、ベネズエラ国内に存在する全ての反独裁勢力を団結させる必要がある」と訴えた。

政権交代の具体的な手段はあくまで「選挙」と主張。

「短期的な目標は自由で公平な選挙を行うことだ。

我々は“投票に参加するか、あるいは参加しないか”という誤ったジレンマに再び陥ることはない。次の選挙はマドゥロ独裁政権から脱却する選挙にしなければならない。マドゥロには賞味期限がある。2024年に与党は誰を候補にする？」

と訴えた。

2022年には大統領の罷免投票を申請することが可能だが、グアイド議長は2024年の話をしている。罷免投票を行う意思が無いということかもしれない。

経 済

「アイサミ石油相 病気はヘルニア」

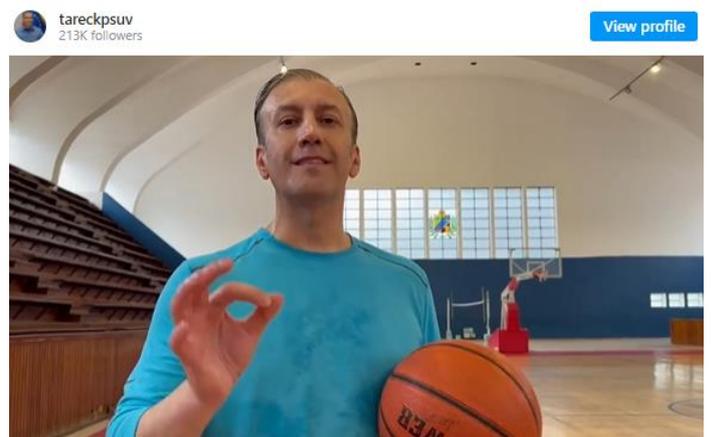
マドゥロ政権の経済分野の最重要人物の一人、タレク・エル・アイサミ石油相が病気を患っており、治療に専念するため大臣職を退く可能性について報じられている（「[ベネズエラ・トゥデイ No.689](#)」「[No.690](#)」）。

12月13日 アイサミ石油相は2分40秒ほどの動画をインスタグラムに投稿。

動画では、アイサミ石油相がバスケットボールを楽しみながら、自身が健康であると説明。大臣職を退く意思はなく、遂行能力にも問題は無いと宣言した。また、ロイターのフェイクニュースについて拒絶すると述べた。

ただし、ヘルニアの治療を行ったと説明。その間も携帯電話は離さず、職務が遂行できる状況だったと述べた。

動画の多くはバスケットボールをもってアイサミ石油相がしゃべっているだけ。実際にバスケットボールをしている映像は、フリースローのみ。激しい運動はしていなかった。本当にただのヘルニアかどうか確証は持てないが、職務を続ける意思があるのは確かなようだ。



(写真) アイサミ石油相インスタグラム

「OPEC 11月の産油量は日量82.4万バレル」

OPECは加盟国の21年11月の産油量を更新した。

OPECの公表(第3者の専門家)によると、11月のベネズエラの産油量は先月から日量1.5万バレル増えて、日量62.5万バレル。

また、ベネズエラ石油省がOPECに報告した11月の産油量は先月から6.8万バレル増えて、日量82.4万バレルだという。

Table 5 - 7: OPEC crude oil production based on secondary sources, tbd

Secondary sources	2019	2020	1Q21	2Q21	3Q21	Sep 21	Oct 21	Nov 21	Change Nov/Oct
Algeria	1,022	897	870	886	922	934	945	954	9
Angola	1,398	1,255	1,141	1,109	1,106	1,126	1,120	1,082	-38
Congo	324	288	271	261	258	264	275	261	-14
Equatorial Guinea	118	115	106	106	99	102	88	88	1
Gabon	215	195	185	186	186	197	176	184	9
IR Iran	2,356	1,988	2,218	2,440	2,482	2,483	2,483	2,474	-9
Iraq	4,678	4,049	3,881	3,940	4,053	4,142	4,149	4,240	91
Kuwait	2,687	2,432	2,328	2,356	2,445	2,470	2,502	2,531	29
Libya	1,097	367	1,175	1,151	1,154	1,149	1,155	1,140	-15
Nigeria	1,786	1,579	1,413	1,423	1,349	1,365	1,335	1,420	85
Saudi Arabia	9,794	9,182	8,445	8,502	9,536	9,646	9,766	9,867	101
UAE	3,094	2,802	2,610	2,644	2,762	2,790	2,829	2,850	21
Venezuela	796	500	517	514	535	542	610	625	15
Total OPEC	29,365	25,650	25,159	25,521	26,885	27,210	27,432	27,717	285

Notes: Totals may not add up due to independent rounding, given available secondary sources to date. Source: OPEC.

Table 5 - 8: OPEC crude oil production based on direct communication, tbd

Direct communication	2019	2020	1Q21	2Q21	3Q21	Sep 21	Oct 21	Nov 21	Change Nov/Oct
Algeria	1,023	899	874	886	924	937	949	959	10
Angola	1,373	1,271	1,136	1,125	1,114	1,110	1,106	1,110	4
Congo	329	300	276	265	266	279	270	253	-16
Equatorial Guinea	110	114	104	99	94	82	81	71	-10
Gabon	218	207	183	179	180	175	171	188	16
IR Iran
Iraq	4,576	3,997	3,846	3,890	3,979	4,093	4,070	4,208	138
Kuwait	2,678	2,438	2,327	2,355	2,447	2,474	2,503	2,532	29
Libya	..	389	1,214	1,213	1,220	1,161	1,244	1,211	-33
Nigeria	1,737	1,493	1,404	1,343	1,270	1,247	1,228	1,275	47
Saudi Arabia	9,808	9,213	8,473	8,535	9,565	9,662	9,780	9,903	123
UAE	3,058	2,779	2,610	2,645	2,758	2,786	2,833	2,852	19
Venezuela	1,013	569	533	556	635	650	756	824	68
Total OPEC	..								

Notes: .. Not available. Totals may not add up due to independent rounding. Source: OPEC.

(写真) OPEC

“OPEC Monthly Oil Market Report、21年12月号”

「証券公社 少額から投資可能な仕組みを検討」

「ビセンテナリオ証券公社」のロドルフォ・メディナ社長は、インタビュー番組「Union Radio」に出演。2021年3月からあるプロジェクトを計画していたと説明した。

その計画とは、小額のボリバルからでも証券投資を始めることが出来て、その投資をボリバルや外貨やデジタル通貨に自由に替えることが出来る仕組みだという。

計画では、20ボリバル(約5ドル)から投資可能な仕組みで、証券を通じて国内経済を活性化させる手段を構築したいと意欲を見せた。

丁度、本日「[ウィークリーレポート No.230](#)」で通貨政策について触れたが、政府が進めている通貨政策の1つに証券を通じた投資促進もある。

銀行融資はマネーストックを増やすが、信用取引を使わない投資であれば、個人・法人が自身のお金を使って、企業に投資を行うことになる。

つまり、資金が移動しているだけなので、お金が増えることがない。国内通貨を増やさないために銀行融資ではなく、証券を介した資金調達を進めているのかもしれない。

社 会

「アルーバ ベネズエラからの入国停止措置延長」

オランダ領アルーバは、ベネズエラからの入国停止措置を2022年3月10日まで延長した。

人の入国だけではなく、貨物・郵便なども禁止される。

9月10日にもアルーバは入国禁止措置を延長した。

アルーバは小さな島だが、ベネズエラが近くにあり、入国要件を緩和した場合、大量のベネズエラ移民が押し寄せることになる。

21年4月の国連の発表によると、アルーバ人口の16%（約10.6万人）はベネズエラ人だという。

2021年12月14日（火曜）

政治

「ククタ空港で爆破事件 少なくとも3名死亡
～野党 マドゥロ政権がテロリストを支援～」

12月14日 ベネズエラとコロンビアの国境の町ククタ（コロンビア側）のカミロ・ダサ空港で2発の爆弾が爆発し、少なくとも3名が死亡した。

爆発は時間を空けて起きた。

1回目の爆発が起きたのは14日の早朝5時45分頃。

不審者が爆弾を持ち、どこかに仕掛けようとしていたという。しかし、衝撃で爆発したようで、目的地に運ぶ前に不審者は亡くなったという。

1回目の爆発から1時間後、2つ目の爆発が起き、爆発物を発見した警察官が爆発に巻き込まれて亡くなった。

警察はテロリストによる犯行とみて事件を捜査している。

この事件について、イバン・ドゥケ大統領はテロリストを非難。軍と警察を総動員して事件の犯人を逮捕すると宣言した。

グアイド議長は、ドゥケ大統領の宣言に呼応する形でツイッターを投稿。

「マドゥロ大統領がベネズエラ国内でテロリストを匿い、南米を不安定化させている」と訴えた。

「来年のグアイド政権存続 野党内で検討」

現地メディア「El Pitazo」は2022年1月5日に向けてグアイド暫定政権内が動いていると報じた。

現在、グアイド暫定政権は現在のスキームを維持しなければいけないと主張しているが、主要野党全体としては暫定政権の役割を変更するべきとの認識が大勢を占めており、組織の再編成が予見されているという。

現在のところ「第一正義党 (PJ)」と「新時代党 (UNT)」に所属する多くの政治家は直接・間接的に暫定政権の役割を疑問視する見解を表明している。

他方、グアイド議長は

「私の責務は憲法233条に則りベネズエラ国民の生命を守り、ベネズエラの民主主義を擁護することにある」と主張し、政権存続の必要性を訴えている。

しかし、ルイス・サラマンカ氏など一部の政治専門家はグアイド議長について、

「3年前と置かれている状況が違う。2019年、全ての政治アクターがグアイドを支持した。しかし、政権交代という目的を達成できず、国民の動員力は低下している。」と指摘。

別の専門家は、グアイド政権の運営について「外国ばかりに注力しており、国民に対して説明するべきことは怠っている。」との見解を示している。

ただ、現時点で主要野党の方向性は定まっておらず、1月5日にグアイド政権が存続するかは定かではないと報じた。

経 済

「与党国会 22年度予算134.6億ドル承認」

12月14日 与党国会は2022年の国家予算を承認した。

承認された予算は、BsD.623億7,945万4,806。ドルに換算すると134億5,700万ドル。

つまり、12月10日にロドリゲス副大統領が説明した予算が100%承認されたことになる。

ただ、国会で予算が承認された現在も個別具体的な予算内容は公表されておらず、ロドリゲス副大統領の口頭による説明くらいしか情報がない。

この説明でロドリゲス副大統領は66億ドルの融資を得ると発言していたという。

本件について、野党系経済学者（PJ所属）のホセ・ゲラ氏は、「66億ドルの融資を得るとの説明があったが、デフォルト状態でどのように誰から融資を得るのが不明」と指摘した。

「国内自動車 経過年数15年超が約半分」

12月14日 「ベネズエラ自動車部品生産組合（Favenpa）」のオマール・バウティスタ代表は、2021年のベネズエラ自動車産業の状況について説明した。

バウティスタ代表は、ベネズエラの自動車組み立て産業について「21年は実質的に存在しなかった」と指摘。

21年は1月～10月までに6台しか組み立てていないとした。なお、20年は国内で120台だったので、21年に入り組み立て台数は更に少なくなったという。

国内で組み立てが行われなければ、自動車部品が購入されなくなるので、部品業界にも悪影響が及んでいると指摘。いくつかの産業で回復の兆しが見え始めているが、自動車部品産業についてはまだ回復が見えていないとの見解を示した。

また、ベネズエラ国内で動いている自動車は平均で22年を過ぎており、他国と比べて古いものが多いと指摘。

11～15年が経過している自動車は全体の34%。
6～10年が経過している自動車は同15.8%
0～5年が経過している自動車は1%（3万874台）だという。

つまり、15年を超えている自動車が、全体の約半分ということになる。

社 会

「サン・ファン・バウティスタ

～ユネスコ 世界無形文化遺産に認定～」

12月14日 ユネスコはベネズエラの伝統行事「サン・ファン・バウティスタ」を世界無形文化遺産に認定すると発表した。

「サン・ファン・バウティスタ」は、6月23日夜から24日にかけてベネズエラで行われる宗教行事で、赤と白の格好をした人々が太鼓のリズムに合わせて踊る行事。

18世紀にスペインが送り込んだアフリカの奴隷移住者が始めたが、キリスト教行事と混ざり独特な宗教行事となった。

「サン・ファン・バウティスタ」で有名な地域はバルガス州、ミランダ州、アラグア州、カラボボ州。ただ、この行事は他の地域にも波及し現在は多くの州で「サン・ファン・バウティスタ」が行われているという。



「モナガス州の巨大洞窟 旅行ツアー」

モナガス州旅行公社のホセ・ゴンサレス代表は、「Fedecamaras Radio」に出演。同地域の旅行開発を行っていると説明した。

モナガス州には「エル・グアチャロ国立公園」という観光地があり、ここには巨大な洞窟がある(ベネズエラで最初の自然遺産)。この洞窟は10.2キロあり、観光ツアーとして移動できる距離は1.2キロ。

現在は、オーストラリア、ベルギー、アイルランド、フランス、スペイン、スイスなど欧州の観光客が多いようだが、より多くの地域から観光客を呼び込みたいという。

モナガス州だけでは外国からの観光客を呼び込めないため、カナイマ国立公園のトレッキングツアーを加えた16日間のベネズエラツアーを計画しているという。

目下の問題は、ガイドの訓練。ガイドは道案内だけではなく、緊急時の対応、料理、キャンプ設営など様々な能力が必要になる。

エンジェルフォールを見にベネズエラまで足を運んだなら、マイナーな観光地を旅しても面白いかもしれない。



(写真) Bancaynegocios

以上

 **Nicolás Maduro** @NicolasMaduro · 10時間 ...
 Celebramos con júbilo y alegría la decisión de la UNESCO al declarar al Cíclo Festivo alrededor de la Devoción y Culto a San Juan Bautista, como Patrimonio Inmaterial de la Humanidad. Un día trascendental que ratifica la riqueza cultural de Venezuela. ¡Qué suenen los tambores!



(写真) 大統領府ツイッター

“ユネスコ 無形文化遺産に登録されたサン・ファン・バウティスタ”